

**平成 25 年度
事業報告書**

西和賀町社会福祉協議会

平成 25 年度 社会福祉法人西和賀町社会福祉協議会事業報告

1 法人運営事業

《理事会》

	開催年月日	場 所 (出席者数/ 定数)	内 容
理 事 会	平成 25 年 5 月 17 日	悠々館 (10/12) 佐々木監事 柳 沢監事	1 社協事業経過報告について 2 平成 24 年度西和賀町社協事業報告・収支決算について 3 市民後見推進事業にかかる受託契約について 4 第 2 次安心生活創造事業にかかる受託契約について
	平成 25 年 9 月 30 日	太田老人セ ンター (9/12) 佐々木監事 柳 沢監事	1 社協事業・介護保険事業経過報告について 2 高齢者演劇事業について 3 平成 25 年度県指導監査指摘事項に関する是正改善報告について 4 西和賀町社協定款施行細則及び会員規程の一部改正について 5 平成 2 5 年度社協役職員研修会について
	平成 25 年 12 月 16 日	悠々館 (9/12) 柳 沢監事	1 社協事業・介護保険事業経過報告について 2 市民後見養成事業について 3 除雪ボランティア「スノーバスターズ」除雪機購入支援について 4 平成 25 年度西和賀町社協会計第 1 次補正予算について 6 平成 25 年度西和賀町社会福祉大会について 7 西和賀町社協新会計基準移行に伴う経理規程の策定について 8 平成 25 年度歳末助け合い配分計画について
	平成 26 年 3 月 14 日	悠々館 (9/12) 佐々木監事 柳 沢監事	1 社協事業報告について 2 平成 25 年度介護保険事業実績について 3 平成 26 年度社協組織体制について 4 平成 25 年度西和賀町社協会計第 2 次補正予算について 5 平成 26 年度社協会費額の決定について 6 平成 26 年度社協事業計画、予算について 7 任期満了に伴う西和賀町社協評議員の選任について 8 西和賀町心配ごと相談員・生活福祉資金貸付調査委員・社協福祉サービス第三者委員の選任について

《評議員会》

	開催年月日	場 所 (出席者数/ 定数)	内 容
評 議 員 会	平成 25 年 5 月 23 日	悠々館 (25/30)	1 平成 24 年度西和賀町社会福祉協議会事業報告、決算について 2 平成 24 年度共同募金事業・収支決算の報告について
	平成 25 年 12 月 19 日	悠々館 (21/30)	1 社協事業報告について 2 平成 25 年度社協会計第 1 次予算補正について
	平成 26 年 3 月 15 日	太田老人福祉 センター (23/30)	1 平成 25 年度社協会計第 2 次予算補正について 2 平成 26 年度社協会費額の決定について 3 平成 26 年度社協事業計画、予算（案）の承認について 4 平成 26 年度共同募金委員会事業計画・予算にかかる報告について

《監事会》

	開催年月日	場 所 (出席者数/定数)	内 容
監 事 会	平成 25 年 5 月 15 日	社協本部 (2/2)	1 平成 24 年度社協事業報告・決算監査
	平成 25 年 7 月 18 日	社協本部 (2/2)	1 出納調査 (第 1 四半期)
	平成 25 年 10 月 16 日	社協本部 (2/2)	1 中間監査
	平成 26 年 2 月 7 日	社協本部 (2/2)	1 出納調査 (第 3 四半期)

《生活福祉資金貸付調査委員会》

	開催年月日	場 所 (出席者数/定数)	内 容
	平成 26 年 3 月 28 日	沢内庁舎 2 階 会議室 (5/6)	1 平成 25 年度生活福祉資金利用状況について 2 まごころ銀行の利用状況について 3 その他

《第三者評価委員会》

	開催年月日	場 所 (出席者数/定数)	内 容
	平成 26 年 3 月 28 日	沢内庁舎 2 階 会議室 (4/6)	1 平成 25 年度介護サービス等利用状況について 2 苦情解決の仕組みについて 3 利用者本位のサービス提供について

[役職員研修会]

	開催年月日	場 所(参加者数)	内 容
役 職 員 研 修 会 の 開 催	平成 25 年 4 月 26 日	盛岡市 ふれあ いランド 役職員 1 名	市町村部会総会 役員セミナー 「住民主体の地域づくり」 岩手大学農学部 広田純一氏
	平成 25 年 5 月 30 日	北上市 ホテル シティプラザ 役職員 5 名	広域社協総会 地域福祉推進のための意見交換会
	平成 25 年 7 月 3 日	ふれあいランド 役職員 2 名	新会計基準研修会 「新会計基準と社協モデル経理規程の改定につ いて」 昆司会計事務所 税理士 丹代一志氏
	平成 25 年 9 月 12 日	北上和賀ボラの 集い 水上温泉 東館 役職員 11 名	大槌町・西和賀町・北上市のボランティア活動についての情報交換 被災地大槌町からお呼びしての交流会を開催

平成 25 年 9 月 19 日 9 月 20 日 10 月 11 日 10 月 12 日 11 月 27 日	釜石市小佐野コ ミセン 住民支 え合いマップイ ンストラクター 養成講座 役職 員 1 名	支え合いマップの基礎知識 支え合いマップづくりの実演 支え合いマップづくりの総まとめ 住民流福祉総合研究所 所長 木原孝久氏
平成 25 年 9 月 27 日	ホテルルイズ 役職員 1 名	県社協主催の会長等懇談会「社協が抱える課題について」
平成 25 年 10 月 15 日 ～16 日	秋田県藤里町社 協 役職員 1 名	「中間的就労施設による町おこし」「引きこもり支援事業の展開について」「住民ニーズを反映した社協事業の展開」社協事務局長 菊池まゆみ氏 日福大 原田正樹氏
平成 25 年 10 月 29 日 ～30 日	秋田県湯沢市・山 形県方面 役員・職員 15 名	町社協役職員研修会 テーマ“市民後見養成事業の進め方と今後の方向について” ～市民後見養成の現状を把握しこれからの事業展開を考える～
平成 25 年 11 月 6 日	岩手県民会館 役職員 10 名	第 65 回岩手県社会福祉大会
平成 26 年 1 月 21 日	銀河ホール 役職員 20 名	平成 25 年度 西和賀町社会福祉大会 パネルディスカッション 基調講演 「地域の見守り体制はどうあるべきか」 ～要援護者等の見守り、生活支援のシステムを考える～ 町保健福祉課主任 高齢者福祉担当 高橋高行氏 住田町社会福祉協議会 事務局長 吉田 浩氏 M2Mテクノロジーズ(株) 取締役営業本部長 河野 達氏
平成 26 年 2 月 18 日	ホテル大観 役職員 1 名	平成 25 年度 市町村社協役職員セミナー 「ニーズ把握から始まる地域福祉の可能性」秋田県藤里町社協 社協事務局長 菊池まゆみ氏 藤里町社協から学んだこと パネルディスカッション他
平成 26 年 3 月 25 日	西和賀町湯本温 泉 山田屋 役職員 8 名	平成 25 年度 広域社協役職員研修会 テーマ 「日々の健康を考える 体温・免疫力を高め、日々元気に 過ごすために」講師 梨の木治療院 院長 小野寺 司氏

2 介護保険サービス事業

事業名	事業内容	事業実績
介護保険訪問介護	介護保険認定者への派遣サービス 身体介護 家事援助	延べ利用者数 4,108 人 (月平均 342.3 人) H24 年度 3,497 人 (月平均 291.5 人)
介護保険通所介護	介護保険認定者対象の通所介護	延べ利用者数 9,087 人 (月平均 757.3 人) H24 年度 9,272 人 (月平均 772.7 人)

訪問入浴介護	移動入浴車による訪問入浴介護	延べ利用者数 302人 (月平均 25.2人) H24年度 308人 (月平均 25.7人)
居宅介護支援事業	介護保険サービス利用にかかるケアプラン作成	延べ利用者数 1,640人 (月平均 136.7人) H24年度 1,575人 (月平均 131.3人)

3 在宅福祉サービス事業

事業名	事業内容	事業実績
生活支援ホームヘルプサービス事業 (障害者自立支援制度)	知的障害・精神障害の方々を対象に、生活上又は精神上的の障害のため日常生活を営むのに支障がある障害者の家庭を訪問し、日常生活の援助を行う	年間利用人員 6人 (知的3人、精神2人 身体1人)
介護用品の普及斡旋	寝たきりの高齢者、認知性老人・身体障害者の方々への介護用品紹介、新製品の普及、介護ベッド、歩行器、おむつカバー、杖などを斡旋した。	社協で斡旋した介護用品 紙おむつ、尿とりパット・エアマット・杖・歩行器具ほか
生活支援ハウス	居住機能及び交流機能を総合的に提供することにより、在宅一人暮らし高齢者等安心して明るい生活を送れるよう支援した。	生活支援ハウスの運営 利用実人数 17名 利用居室数 15部屋 平成 25年 11月 16日～
まごころ宅急便事業	交通手段をもたず買物等で不便を感じているの方々を対象に、必要に応じて電話にて社協へ注文し、スーパーオセンからヤマト運輸が個別宅に配達する買物支援の仕組み	平成 25年度 登録利用者数 25名
いわてお元気見守りシステム	登録いただいている独居高齢者等が毎日、自宅から自発的に電話することにより、折り返しかかってくる音声案内に回答する見守りシステム	平成 25年度 登録利用者数 19名 実質稼働者数 11名
新たな見守りシステム 絆-ONE 実証試験	国のモデル事業として採択を得て実施中 押しボタン方式と人感センサーで、日常的な見守りや日常生活支援を推進する。	平成 25年度 設置利用者数 55名

4 住民参加の地域福祉活動

事業名	事業内容	事業実績
平成 25年度西和賀町社会福祉大会	過疎高齢化の進む西和賀町では、高齢者や障がい者などの要援護者の見守り体制の脆弱化が課題になってきている。その中で住民相互の助け合いを基本にし、見守りや生活支援の方策や仕組みづくりについて考える機会とした。	平成 26年 1月 21日 (火) 『銀河ホール』式典 パネルディスカッション テーマ：「地域の要援護者を支える見守り体制はいかにあるべきか」～要援護者等の見守り、生活支援のシステムを考える～ 西和賀町保健福祉課主任 高橋 高行氏 住田町社協 事務局長 吉田 浩氏 M2M 取締役営業本部長 河野 達氏

第8回西和賀福祉まつり	町内福祉活動の紹介並びに障がい者も含め、誰でも企画・参加できる事業。農業まつりとの共催として開催した。	平成25年10月19日(土) JAいわて花巻西和賀団地センター 作品展示・模擬店、バザー、フリーマーケット、福祉活動の啓蒙やステージ部門
歳末チャリティショーの開催協力	歳末たすけあい運動の一環として、町民総参加のイベント。 12月1日(日) 銀河ホールで開催。	チャリティ収益金総額 354,400円 歳末たすけあい募金へ 250,000円
共同募金運動の展開	民間社会福祉施設、事業への配分を行う、赤い羽根共同募金運動を全国運動に呼応して行った。	10月1日～12月31日
地域に関する情報提供・連絡調整・調査	在宅福祉に関する情報やニーズ調査、名簿等を整備し民生委員、警察、消防等情報共有。4/1と10/1で調査。福祉的な相談に対して公的機関との連絡・調整を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり暮らし高齢者名簿 ・高齢者夫婦世帯名簿 ・日中一人暮らし高齢者 ・除雪必要世帯調査 ・認知症等見守りの必要な方々の実態把握 ・自立歩行困難者名簿 ・災害時等要援護者支援名簿整備

5 高齢者福祉の推進

事業名	事業内容	事業実績
健康づくり事業への開催・支援	老人クラブを中心に健康づくりのためのスポーツ大会等の開催・支援	町シルバースポーツ大会 6月28日 北上地区シルバースポーツ大会 7月9日 岩手県シルバースポーツ大会 9月14日
花いっぱい推進事業	花咲じーばーず西和賀	高齢者パワーアップ支援事業として、花苗を6,000本栽培し、販売するとともに町内の保育園・小中学校・高校に寄贈した。
ひとり暮らし高齢者世帯・寝たきり高齢者等への電気器具・照明器具の点検・清掃	東北電力の協力を得て、電気、照明器具の点検・清掃を行なった。	電気、照明器具の点検・清掃：東北電力 10月28日 11世帯(左草・下前・清水ヶ野・湯田・川尻二区対象)
高齢者演劇事業	演劇活動を通して、高齢者の積極的な社会参加、生涯学習の推進を図った。さらには、自己表現する喜びを体感し、合わせて多くの人々に感動と、可能性そして喜びを与えた。	事業 劇団「シニア劇団松ぼっくり」 演目「歌う平成お宮の松」 公演日 9月8日 西和賀町(銀河ホール：地域演劇祭) 10月10日 横手市 横手市ふるさとドーム 11月12日 西和賀町(銀河ホール：高齢者大学閉講式) 11月20日 山田町 山田町中央公民館 11月28日 北上市、さくらホール 11月29日 遠野市 遠野市民文化会館

各種実習の受入れ	訪問介護員養成研修 2 級課程	7 月下旬～10 月中旬迄 西和賀高等学校・北上福祉教育専門学校等から受入れ、実習支援を行なう。
----------	-----------------	---

6 障害者福祉の推進

事業名	事業内容	事業実績
視力障害者のための声の広報活動	目の見えない方やねたきりの方に町や社協等が発行する広報紙をカセットテープに録音し、郵送しているボランティア活動。	ボランティア「こだま」による「広報にしわが」の録音 月 1 回 録音ボラ 13 人（西和賀高校も協力） サービス利用者 6 人 延べ 72 人
知的障害者支援事業	北上和賀広域地区で開催され知的障害者の運動会、地域推進事業、育成会事業などへの支援。	8 月 24 日 北上・和賀地区ふれあい運動会 (藤根 多目的グラウンド)
福祉団体の育成・支援 (障害者の社会参加促進推進)	老人クラブ連合会事務局 身体障害者協会事務局 母子・寡婦福祉協会事務局	各団体事務局として、団体の事業運営等に支援した。

7 福祉教育・児童福祉の推進

事業名	事業内容	事業実績
地域で育む福祉教育推進事業	岩手県社会福祉協議会からの補助金を得て、地域と学校との連携強化を図る。	福祉教育推進委員会の設立・開催 年 2 回 8 月 8 日・3 月 28 日 地域で育む福祉推進セミナーへの参加 町内各種行事への児童・生徒の参加
西和賀町学童クラブの開設	町からの委託を受けて、西和賀町学童クラブ（湯田圏域：ドラエモンポケット 沢内圏域：沢内学童クラブ）を行なった。	開設日数 湯田 235 日 沢内 242 日 湯田圏域登録利用者数 29 人 沢内圏域登録利用者数 39 人 (長期休業利用含む) 湯田圏域延べ利用者数 2,872 人 沢内圏域延べ利用者数 4,011 人 沢内小学校・湯田小学校隣接地で開所 学童クラブ保護者会（湯田 2 回、沢内 2 回）
作文集の発行	小中高の児童生徒が、家族や地域での活動を作文し、ふれあいある豊かな地域づくりをねらいとして作文コンクールを開催し、文集を発行した。	作文集「ふれあい」を発行し、各学校・関係機関に配布した。 小学校低学年・中学年・高学年、中学校、高等学校の 4 部門において最優秀 1 点、優秀 2 点の顕彰を行った。
ボランティア学習の実施	町内の小学校でキャップハンディ体の学習会を実施した。	6 月 19 日 湯田小学校 4 年生 10 人 6 月 26 日 沢内小学校 4 年生 16 人
子育てサロンの実施	未就園児童と母親が一同に会して、育児の悩みを共有や仲間づくりを図った。	開催回数 12 回（4 月～3 月） 開催場所 太田さわやか会館・悠々館ほか 参加者 延 75 人 (協力スタッフ：民協・母子協他=34 人)

8 ボランティア活動の推進

事業名	事業内容	事業実績
ボランティアグループの育成・支援	ボランティアグループの育成支援と活動環境整備の実施。	ボランティア団体数 18グループ ボランティア登録者数 2,360名
ボランティアセンター事業	ボランティアに関わる相談・登録・斡旋と共に、情報提供と活動支援を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・スノーバスターズ新規会員募集及び町外助っ人ボランティア等への呼びかけ ・見守りボランティアの登録、活動斡旋。福祉施設への斡旋などを実施する。 ・ボランティア保険の斡旋、手続代行 ・100km マラソンボラ協力への調整 ・ボランティア体験 in いわてへの参加
スノーバスターズ活動への支援	一人暮らしや身体障害者世帯など雪に困っている世帯を訪問し、雪かきや声かけ活動をするボランティア団体を支援する（事務局）	<p>町内を 21 班に分けて活動</p> <p>平成 25 年度会員数 379 人（一般 173・中学生 80・高校生 126）</p> <p>平成 25 年度対象世帯 123 世帯</p> <p>出勤式 1 月 19 日（日）沢内トレセン</p> <p>町外から活動支援を受け入れ、利用者、各団体と連携のもとに活動日を設定し実施した。</p> <p>町外から助っ人ボラ 20 団体 350 人来町</p> <p>北上地区建設協議会から 10 万円寄付 統一活動 1 月 19 日（日）2 月 2 日（日） 3 月 2 日（日）</p>
ハウスヘルパー活動への支援	一人暮らしや身体障害者世帯など冬期間における住宅損壊の修復、冬期間に向けての住宅補修を行った。	<p>平成 25 年度会員数 22 名</p> <p>平成 25 年度実施状況</p> <p>6 月 3 日～6 月 23 日 統一活動 32 件</p> <p>11 月 1 日～11 月 15 日 統一活動 31 件</p> <p>10 月 19 日福祉まつり＝刃物研ぎ/11,700 円</p>
ボランティアへの参加を啓発する活動	広報紙やチラシ及びインターネットのホームページなどで広く呼び掛けた。（雪かき助っ人ボラ）	<p>広報紙「福祉だより」</p> <p>スノーバスターズ会員募集チラシ</p> <p>マスコミ等のホームページを活用・発信</p>

9 共に支えあう町づくり(ネットワーク活動)の推進

事業名	事業内容	事業実績
ひとり暮らし高齢者等の有料除雪支援組織への協力	町で実施している有料除雪制度(除雪業者斡旋)の紹介などを行う。	雪かきボランティア「スノーバスターズ」活動だけでは対応できない場合など制度の紹介をしている。 除雪 110 番・福祉除雪
ひとり暮らし高齢者の情報把握、連絡先などのリスト整備	ひとり暮らしの高齢者の方々が病気になったり死亡した場合に緊急に身内(子供など)に連絡できるように連絡先などのリストを整備し情報提供する。	連絡先リストの整備など民生委員と連携して進めた。高齢者等要援護者のリストを整備し、地図情報におとした。
ひとり暮らし高齢者の生きがい交流会支援	ひとり暮らし高齢者交流会を開催した。	<p>「ひとり暮らし交流会」 合計 210 人参加</p> <p>第 1 回 6 月 21 日 マルカンデパート 57 人</p> <p>第 2 回 10 月 3 日 悠々館 55 人</p> <p>第 3 回 12 月 26 日 ケハウス 41 人</p> <p>第 4 回 3 月 24 日 悠々館 57 人</p>

10 在宅介護者（障害者）支援事業の実施

事業名	事業内容	事業実績
地域包括支援センター支所（ブランチ）	在宅の高齢者にかかわる相談、介護用品の紹介、介護予防事業を実施	平成25年度支所での相談件数 39件 包括ケア会議（10回開催）
寝たきり老人・認知症高齢者等の「介護者リフレッシュ」の実施	在宅の要介護者の介護に日夜携わっている方々の悩みを聞き、交流や楽しみの機会をつくりながら心身のリフレッシュをしてもらう。	在宅介護者の集い 「楽しくリフレッシュ」 2月4日「沢内バーデン」10人
日常生活支援事業（権利擁護事業）	在宅の高齢者や障害者の申請事務代行及び金銭管理について、援助し権利侵害がなされないよう支援する。	知的障害者（8名）・高齢者（2人）と契約を締結し、金銭管理及び日常的な生活支援を生活支援員と協力して行なった。 生活支援員：4名配置
市民後見推進事業	一般町民を対象に市民後見人養成講座を開催した。 西和賀町市民後見推進事業体制整備検討委員会の設置	養成講座の開催 平成26年1月12日～3月9日の期間 受講修了者数 32名 養成講座を受けて市民後見推進事業体制整備検討委員会を立ち上げた：3月24日

11 低所得者福祉に関する事業

事業名	事業内容	事業実績
まごころ銀行の設置運営	当面の生活費、医療費など一時的な出費に対し5万円以内（特別な場合20万円以内）で貸す制度 貸付限度額 5万円（20万円）以内 償還期限1年以内 貸付利子無利子 保証人 必要なしただし5万円を超える場合は連帯保証人1名必要	P Rチラシ発行 25年度 貸付15件 730,000円の貸付 25年度 償還60件 673,000円の償還 未償還金総額 18件 655,000円 内 悠々館扱い 8件 350,000円 本部扱い 10件 305,000円
生活福祉資金の有効活用による更生指導、自立援助	低所得世帯等に資金を貸し、経済援助と民生委員による生活指導を行う。（県社協からの委託事業）	平成25年度相談件数 17件 申請件数 1件（却下） 事前審査件数 2件（非該当）
西和賀町歳末たすけあい募金の適正配分	歳末たすけあい募金「明るい正月を迎えよう」として共募が集金し、社協が対象者に配分している。	募金総額 1,386,132円 生活困窮世帯配分 38世帯 456,000円 母子・父子世帯配分 29世帯 145,000円 在宅介護障害者配分 85世帯 425,000円 在宅福祉事業配分 3事業 150,000円 被災世帯配分 0世帯 0円 事務費 70,000円 配分残余金（県共募送付） 140,132円
低所得世帯の生活相談・援助	西和賀町まごころ銀行と生活福祉資金利用者に対し、相談・援助を行う。	低所得世帯への指導・援助は民生委員を中心に必要の都度行った。

1 2 福祉関係団体との連携

事業名	事業内容	事業実績
町民生児童委員協議会との活動連携協力	ネットワーク活動の推進、要援護者への支援、各種調査、行事への参加の取りまとめなど、地域の民生委員との連携協力が不可欠であり、多大な支援、協力を得ている。	定例民協への参加：毎月1回 生活福祉資金、まごころ銀行の貸し付け、償還指導など協力を得ている。ネットワーク活動への参加。
北上・和賀地区広域社協との活動連携	広域社協としての事業が増えており、連携して取り組んだ。	東日本大震災被災地の大槌町社協への支援を年間を通じて行った。「まごころ宅急便など」
福祉行政及び各種委員会との連携、協力	社協運営と行政(福祉・教育)とが連携を密にした。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校保健会委員 ・行政改革審議会委員 ・町基本計画審議会委員 ・西和賀高校教育振興会 ・町営住宅入居選考委員会 ・包括支援センター運営協議会委員 ・地域演劇祭実行委員 ・西和賀町保健調査会委員
町内外各団体等との連携	町内外にある社会福祉法人等との連携を密にした。	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人光寿会評議員 ・社会福祉法人潤沢会理事・評議員 ・包括支援センター地域ケア会議委員

1 3 広報など福祉意識の啓発、普及活動

事業名	事業内容	事業実績
福祉だより編集発行	福祉だより(社協広報紙)を発行全戸配布し社協事業や制度のPRを行っている。	年5回発行
各種チラシの発行	スノーバスターズたより等々の発行及び社協ホームページの開設により社協の多様な情報を発信した。	適宜

1 4 心配ごと相談所事業

事業名	事業内容	事業実績
心配ごと相談所(常設・定例相談所の開設)	心配ごと相談所の定例相談日の開設(毎週木曜日)と常設相談社協の広報や町の広報、お知らせ版でお知らせした。	定例相談日として広報している。(社協事務局対応)
専門相談の実施	定期的に専門相談を開催	法律相談 弁護士相談 2ヶ月に1回2ヶ所で開設 人権・行政相談 人権相談週間・行政相談週間にあわせ専門相談員を配置した。 (人権擁護員・行政相談員)